

DX化への当社取り組み

池畑運送株式会社

現状認識とDX戦略策定の目的

池畑運送では、競争環境へのデジタル技術の導入により市場変化のスピードが飛躍的に加速していく中で、DXの推進を行うことで方針の共有/戦略の決定・実行までのスピードを上げて競争環境の変化に対応していく事を取締役会にて承認しDXを推進していく事とする。

DX基本方針

お客様には徹底的にアナログでお役立ちするために、バックヤードはデジタルで業務の効率化を進め、お客様と従業員の双方の満足度向上を追求します。

弊社では経営戦略の一環としてデジタル技術の発達に伴い多様化するお客様のニーズにスピードで対応し、更にお客様のお役に立つためにデジタルトランスフォーメーション(DX)の推進を強化し、ビジネスプロセスの最適化へ取り組んでまいります。

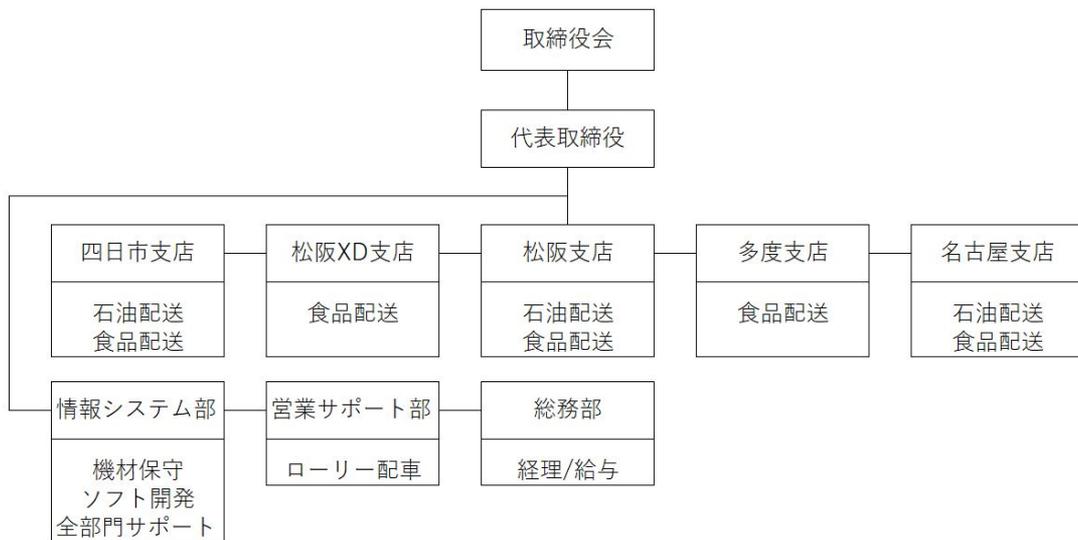
DX戦略

以下の施策をスピードで実施することでお客様への接触機会を増やす。

- 積極的にGoogleWorkspaceにデータを置く、またはデータが集める。
- GoogleフォームとAppSheetで入力した情報をGoogleスプレッドシートに蓄積し、データベースとして活用し、LookerStudioで傾向可視化する。
- Googleフォームでお客様情報収集、チャットワークへの自動転送し項目別に情報共有し、ビジネス展開のために意思決定のソースの1つとする。
- 基幹システムに回部データを取り込む仕組みを構築しシステム間連携を強化する。

DX推進体制

DX推進を強化するため、2020年より情報システム部を発足し、
デジタル人材育成・IT導入促進・ITツールの活用サポートを推進しております。



DX人材の育成

DX推進を強化するため、2020年より情報システム部を発足しデジタル人材育成・IT導入促進・ITツールの活用サポートを推進しております。

- ・一般事務職は情報システム部による社内勉強会と各種マニュアルの準備によって、情報システム部は社外研修、取引先IT協力会社との定期情報共有により、ITツール、ソフトウェアの知識を蓄える。

- ・3年後に情報システム部を3名体制にする。

DXを進めるための環境の整備

ハード・ソフトの環境整備に継続投資する

- 1.全社員へのiPhone貸与を継続し、さらなる社内データ共有が可能な環境を構築する。
- 2.ローコード、ノーコードプラットフォームを活用し、既存のデータベース連携を図り、情報活用の幅をさらに広げる。
- 3.AIを利用した業務拡張により業務の省力化を実現する。
- 4.RPA、スクリプト言語を活用し、ルーティンワークの自動化を進める。

DX戦略達成を図る指標

- ・毎年4月に社外のお取引様を招き「経営計画発表会」を実施し経営計画書と財務指標の報告を行い、自己評価を開示している。

以下指標を指標として達成度を管理する。

- ・労働分配率: 70.9% (2024年度)

代表メッセージ

池畑運送株式会社では全社員への iPhone、全事務職への iPad 貸与を始まりとして社内のデジタル活用を進めてまいりました。これらスマートデバイスはインターネットを通してアナログ手法を介さずに情報の双方向通信を実現し、その結果、社内のペーパーレス化の促進、意思疎通にかかるスピードの向上、リアルタイムの情報更新、データ入力の省力化を実現し、それら蓄積された情報を元にビジネスモデルに活用しうる環境が徐々に整ってまいりました。

今後の展望としましては、DX 推進をさらに強化し、掲げたビジョンの実現に向けて取り組んでまいります。Google 等のデジタルツールを組み合わせ、可視化したデータを基にお客様満足度の向上を果たし、劇的な市場環境の変化にスピードで対応できる経営を実現してまいります。

池畑運送株式会社

代表取締役 池畑弘樹